

3年生「宇仁の朝市へむけて野菜を育てよう！」

活動の動機

1学期に1～3年生で学級園で夏野菜の栽培をした。野菜の収穫に追われている最中に、青野町に住む児童が「朝市に野菜を出したい！」と言ったことがきっかけ。そこから、たくさんの人に野菜を食べてもらおうと2学期は秋冬野菜の栽培に取りかかった。

宇仁の朝市部会長 繁田しんさくさん



宇仁の朝市部会長の部会長さんや、野菜を出品されている方に野菜を出品するにあたって話を聞いた。元々は地産地消をスローガンとして活動を行っていたが、最近は宇仁に住んでいる方よりも加東市や西脇市などの近隣の市町からのお客さんが多いとのこと。宇仁地区に住む人にも来てほしいと話を聞いた。

野菜の栽培にあたって

小松菜・水菜・ホウレンソウ
大根・白菜・キャベツ・レタス



葉がスカスカになりました

体に安全な農薬作り→→→
「唐辛子ニンニクスプレー」

害虫対策を考えました！

- ①手でひたすら取る
- ②捕獲道具を作る
- ③糊と割り箸を使う
- ④農薬の散布 ←←←←ようやく被害がましになりました



2回の野菜販売

今年度は宇仁フェスと朝市（ぽかぽ店）に出店しました！



バーコード（値札）を間違えずに貼れました！

レジでスキャンと袋詰め作業をしました！



成果

・作物の栽培に非常に興味をもって活動に取り組む様子が見られた。みんなに食べてほしいという思いで活動に取り組むことができた。

- ・作物を栽培することは難しく、たくさん失敗することがあったが、そのたびみんなで解決策を考え、実行することで課題を解決していく力が身についた。
- ・他の学年の友達やその家族も来店してくださった。（地域の方の集客UP）
- ・朝市部会の方が喜んでくださった。またいつでも来てほしいともおっしゃっていただけた。農業によって学校と地域をつなぐことができたと感じた。
- ・売上金の活用方法についても話し合いし、学校で活用できる物や、自分たちが飼っているカメのエサを購入した。今年度は21222円の売り上げだった。

課題

・8人という少数だからこその活動が多々あった。大人で行う場合は、より詳細に役割を決めておく必要があると感じた。

- ・冬野菜だけでなく、夏野菜でも出店することが可能だと感じた。年度の初めに計画を立てることができたらよかった。
- ・害虫による被害が大きかった。防虫ネットによる予防をしたほうがきれいに作物を育てられた。
- ・夏の暑さが続く場合、休日にも水やりが必要。
- ・朝市での販売において、どのような役割あるのか確認しておくべきだった。